

看護教育 第15巻 総目次

1974 年 1 - 12 号

(第 13 巻 第 5 号の特集文献集録に準じて分類)

教育原論に関するもの

人間形成の原理と方法 第 1 部 人間形成の基礎理解
(1) : 安彦忠彦, 1 号, 65 - 70 頁.

教育の眼 肉体労働と知能労働(2) : 佐藤忠男, 1 号,
71 - 75 頁.

人間形成の原理と方法 第 1 部 人間形成の基礎理解
(2) : 安彦忠彦, 2 号, 135 - 141 頁.

教育の眼 情操教育について : 佐藤忠男, 2 号, 142 -
147 頁.

人間形成の原理と方法 第 1 部 人間形成の基礎理解
(3) : 安彦忠彦, 3 号, 220 - 227 頁.

教育の眼 映画で外国を学ぶ : 佐藤忠男, 3 号, 228 -
234 頁.

教育の眼 想像力の自己教育 : 佐藤忠男, 4 号, 292 -
299 頁.

人間形成の原理と方法 第 2 部 人間形成の方法(1) :
扇谷尚, 5 号, 351 - 356 頁.

教育の眼 付き合いとしての教育 : 佐藤忠男, 5 号,
357 - 362 頁.

人間形成の原理と方法 第 2 部 人間形成の方法(2) :
扇谷尚, 6 号, 417 - 420 頁.

教育の眼 歴史をどう学ぶか : 佐藤忠男, 6 号, 421 -
425 頁.

人間形成の原理と方法 第 2 部 人間形成の方法(3) :
扇谷尚, 7 号, 482 - 486 頁.

教育の眼 言葉の教育(1) : 佐藤忠男, 7 号, 487 -
491 頁.

人間形成の原理と方法 第 3 部 人間形成と技術教育
(1) : 元木健, 8 号, 539 - 544 頁.

教育の眼 言葉の教育(2) : 佐藤忠男, 8 号, 545 -
549 頁.

人間形成の原理と方法 第 3 部 人間形成と技術教育
(2) : 元木健, 9 号, 599 - 604 頁.

教育の眼 言葉の教育(3) : 佐藤忠男, 9 号, 605 -
609 頁.

人間形成の原理と方法 第 4 部 人間形成と生活指導 :
桂正孝, 12 号, 823 頁.

教育の眼 働く者の学習 : 佐藤忠男, 12 号, 829 頁.
自己学習 : 高橋美智, 12 号, 808 頁.

看護学論に関するもの

看護とは : 小林登, 1 号, 23 - 30 頁.

私の発言 看護学の学としての構成についての疑問——
成人看護学を中心に : 金川克子, 8 号, 497 - 500
頁.

看護教育原論に関するもの

座談会・ベッドサイド・ティーチングの意義とその実
践 : 日野原重明・杉山晴子・鈴木文江, 1 号, 7 -
21 頁.

看護教育の改善について : 北原龍二, 3 号, 186 - 189
頁.

特別インタビュー ブラウン女史に聞く これからの看
護と看護教育 : エスター・L・ブラウン, 小林富美
栄・吉武香代子・鈴木一子, 4 号, 245 - 251 頁.

看護教育における社会学ゼミナールの試み——看護教育
とは何か : 北原龍二, 4 号, 265 - 271 頁.

看護教育と人間観 : 見藤隆子, 5 号, 318 - 325 頁.

看護教育における教育課程の編成と教育評価について :
竹田三郎, 7 号, 449 - 452 頁.

座談会 明日の看護教育 : 荒井蝶子・外口玉子・小林富
美栄・松野かほる, 10 - 11 合併号, 765 - 778 頁.

看護教育における一般教養の必要性 : 鮫島康子, 9 号,
561 - 568 頁.

看護教育の歴史的一面 : 長吉孝子, 9 号, 577 - 580 頁.

看護教育へのひとつの視点 : 森日出男, 12 号, 802 頁.

教育制度に関するもの

看護制度の改善に関する報告(昭和 48 年 10 月) : 厚生
省看護制度改善検討会, 2 号, 153 - 159 頁.

教育学部における看護教育のあり方 : 小島操子, 3 号,

161-165 頁.

座談会・明日の看護教育：荒井蝶子・外口玉子・小林富
美栄・松野かはる，10-11 合併号，765-778 頁.

カリキュラムに関するもの

看護教育における教育課程の編成と教育評価について：
竹田三郎，7 号，449-452 頁.

3 年課程の総合実習の展開——学年レベルによる統合と
学習意欲を啓発する試み：立山正子，7 号，453-
463 頁.

准看護婦学校ならびに高等学校教育に関するもの

座談会 高校衛生看護科・専攻科の現状と課題：瀬上豊
子・石川ナミ子・近藤準子，3 号，176-185 頁.

看護高校生および看護短大学生における職業観の発達
に関する研究——職業観診断テスト結果分析——：
高橋章子・中島紀恵子，8 号，509-519 頁.

衛生看護科専攻科における看護研究——‘看護の歴史’
指導の展開と評価——小山倫子，8 号，520-525
頁.

高等学校（看護専攻科を含む）における衛生看護教育に
ついて：忠政敏子，12 号，815 頁.

私の発言 准看護婦教育の問題点：山口ミュキ，12 号，
781 頁.

進学課程ならびに短大教育に関するもの

進学課程短大における母性看護学 学内実習のすすめ方
（1）：藤田八千代・藤尾ミツ子・川崎佳代子，1
号，57-64 頁.

同上（2）：藤田八千代・藤尾ミツ子・川崎佳代子，2
号，132-134 頁.

同上（3）：藤田八千代・藤尾ミツ子・川崎佳代子，4
号，280-291 頁.

同上（4）：藤田八千代・藤尾ミツ子・川崎佳代子，5
号，343-350 頁.

私の発言 夜間進学課程の教育に求められるもの：長浜
嘉栄子，4 号，241-244 頁.

鼎談 国立医療技術短期大学部看護科の現状を考える：
氏家幸子・須河内トモエ・金川克子，8 号，501-
508 頁.

看護高校生および看護短大学生における職業観の発達
に関する研究——職業観診断テスト結果分析——：
高橋章子・中島紀恵子，8 号，509-519 頁.

大学教育に関するもの

大学看護教育の多面化——成人保健学よりのトライア
ル：赤松隆・伊藤元明・井上範江，1 号，99-104
頁.

教育学部における看護教育のあり方：小島操子，3 号，
161-165 頁.

大学制度の看護教育——看護学確立のために：菊井和
子，5 号，305-310 頁.

助産婦教育に関するもの

私の発言 助産婦教育実践の中で感じること：藤沢洋
子，7 号，433-436 頁.

産科看護教育におけるカリキュラムの比較研究，統合
的カリキュラムか非統合的カリキュラムか：Fusae
Maki Chong，7 号，444-448 頁.

外国の看護教育に関するもの

動いているアメリカ合衆国の看護：吉武香代子，5 号，
311-317 頁.

世界の看護教育制度 イギリス：季羽倭文子，10-11 合
併号，618-626 頁.

同上 フランス共和国：華表宏有，10-11 合併号，627
-635 頁.

同上 スイス連邦：中島由美子，10-11 合併号，636
-645 頁.

同上 ドイツ連邦共和国（西ドイツ）：小沢清子，10-
11 合併号，646-652 頁.

同上 スウェーデン王国：Hornmark 紀子，10-11 合併号，
653-662 頁.

同上 デンマーク王国：中島由美子，10-11 合併号，
663-668 頁.

同上 ソビエト社会主義共和国：高橋その，10-11 合併
号，669-674 頁.

同上 チェコスロバキア社会主義共和国：大根優子，10
-11 合併号，675-681 頁.

同上 ポーランド人民共和国：南裕子，10-11 合併号，
682-686 頁.

同上 アメリカ合衆国：鮫島康子，10-11 合併号，687
-699 頁.

同上 カナダ：真木昭子，10-11 合併号，700-705 頁.

同上 メキシコ合衆国：山崎慶子，10-11 合併号，706
-708 頁.

同上 ブラジル連邦共和国：須田清子，10-11 合併号，
709-711 頁.

同上 中華人民共和国：雪永政枝，10-11 合併号，712-718 頁。
同上 大韓民国：皇甫仙，10-11 合併号，719-724 頁。
同上 インド：荒井蝶子，10-11 合併号，725-729 頁。
同上 タイ王国：Santimalapong Lee Lee，10-11 合併号，730-734 頁。
同上 イスラエル国：南裕子，10-11 合併号，735-741 頁。
同上 オーストラリア連邦：草刈淳子，10-11 合併号，742-754 頁。
同上 ニュージーランド：壁島あや子，10-11 合併号，757-764 頁。

教育技法・授業に関するもの

3年課程の総合実習の展開 学年レベルによる統合と学習意欲を啓発する試み：立山正子，7号，453-463 頁。
学生の看護能力に関する一調査：河本令子・谷川美保子・西山久美子・宮崎文子，8号，530-534 頁。

基礎・教養科目に関するもの

ナイチンゲールに関する2,3の資料紹介とその考察
Ⅰ，“看護覚え書”初版本と本邦訳に関する考察：柴田寿子，1号，46-56 頁。
同上 Ⅱ，ナイチンゲールとナイチンゲール養成学校について：柴田寿子，2号，116-121 頁。
同上 Ⅲ，津田梅子のナイチンゲール訪問日記について：柴田寿子，4号，272-279 頁。
スキップと人間関係：水野肇，7号，437-443 頁。
衛生看護科専攻科における看護研究「看護の歴史」指導の展開と評価：小山倫子，520-525 頁。
看護の思想について思うこと：倉鋪桂子，9号，557-560 頁。
看護教育における一般教養の必要性：鯨島康子，9号，561-568 頁。

専門科目に関するもの

私の発言 看護婦の行う看護——ジョニーの看護をめぐる——：清水昭美，1号，1-6 頁。
看護とは：小林登，1号，23-30 頁。
進学課程短大における母性看護学内実習のすすめ方
(1)：藤田八千代・藤尾ミツ子・川崎佳世子，1号，57-64 頁。
同上 (2)：藤田八千代・藤尾ミツ子・川崎佳世子，2号，122-131 頁。

患者の「見方」に関する一考察：高嶋久子，2号，132-134 頁。

進学課程短大における母性看護学内実習のすすめ方
(3)：藤田八千代・藤尾ミツ子・川崎佳世子，4号，280-291 頁。

同上 (4)：藤田八千代・藤尾ミツ子・川崎佳世子，5号，343-350 頁。

対談・患者の不安：望月衛・稲田美和，6号，375-388 頁。

食事摂取への援助に関する一事例(1)：坪井良子・鈴木佐和子，6号，409-416 頁。

同上 (2)：坪井良子・鈴木佐和子，7号，477-481 頁。

産科看護教育におけるカリキュラムの比較研究——統合的カリキュラムか非統合的カリキュラムか——：Fusae Maki Chong，7号，444-448 頁。

3年課程の総合実習の展開——学年レベルによる統合と学習意欲を啓発する試み：立山正子，7号，453-463 頁。

私の発言 看護学の学としての構成についての疑問——成人看護学を中心に：金川克子，8号，497-500 頁。

看護生理学実験：三原勉・小山倫子・星田和子・湯越好子，9号，594-598 頁。

看護における技術：芝田不二男，12号，785 頁。

臨床実習・臨床指導に関するもの

座談会・ベッドサイド・ティーチングの意義とその実践：日野原重明・杉山晴子・鈴木文江，1号，7-21 頁。

私の発言 看護実習の中で考えること：城慶子，2号，81-85 頁。

成人看護の実際——看護実習をいかに学ぶか——：池川清子・浅田庚子，2号，86-97 頁。

臨床実習指導者とはだれか——わたしの経験的臨床実習指導者論：野島良子，3号，166-175 頁。

受持制看護実習時における退院後家庭訪問の実際——助産婦学生・看護学生のために：針生セツコ，3号，199-203 頁。

実習時期による学生に対する受持患者の反応の相違：丸橋佐和子，3号，204-212 頁。

臨床教育活動の一考察：岡崎節子・中桐佐智子，3号，213-315 頁。

臨床実習について：海野多津子，3号，217-319 頁。

対談・患者の不安：望月衛・稲田美和，6号，375-388 頁。

頁.

臨床実習の問題を探る：池野栄子，6号，389-396頁。
食事摂取への援助に関する一事例（1）：坪井良子・鈴木佐和子，6号，409-416頁。
臨床実習指導のあゆみ：森恵美子・田中由紀子・倉鋪桂子・高岡スミ子，7号，464-473頁。
学生の看護能力に関する一調査：河本令子・谷川美保子・西山久美子・宮崎文子，8号，530-534頁。
技術実習の実践と指導：田中松子，8号，535-538頁。
臨床実習評価の再検討とモデル変え——実習評価の志向性：鈴木敦省，12号，793-801頁。

課外活動・寮・学生・進路追跡に関するもの

大阪大学医療技術短期大学看護科学生の動向 II. 学生の背景と生活状況：氏家幸子・砂田美津子・依田和美，1号，31-48頁。
同上 III. 学生の入学時の状況：氏家幸子・砂田美津子・依田和美，2号，105-115頁。
同上 IV. 入学生の看護に関する認識：氏家幸子・砂田美津子・依田和美，3号，190-198頁。
同上 V. 在学中の動向：氏家幸子・依田和美，5号，326-342頁。
看護教育と課外活動：遠藤恵美子，6号，369-374頁。
大阪大学医療技術短期大学看護科学生の動向 VI. 卒業後の進路に関して VII. 全体総括：氏家幸子・砂田美津子・依田和美，6号，397-408頁。
3年課程看護学校卒業生進路調査と進学者追跡調査による動向：酒井総子・芝岡七五三子，7号，474-476頁。
看護高校生徒および看護短大学生における職業観の発達に関する研究——職業観診断テストの結果分析：高橋章子・中島紀恵子，8号，509-519頁。
2年制短大の入学生の推移——実態と意識：谷口治恵子，8号，526-529頁。
看護学生の社会参加 コミュニケーション生活・読書・課外活動：遠藤恵美子・熊沢祐子・馬場博子・日下真千子，9号，581-588頁。
3年課程卒業生の進学者追跡調査による定員充足状況について：芝岡七五三子・酒井総子，9号，589-593頁。

教務・専任教員に関するもの

教育学部における看護教育のあり方：小島操子，3号，161-165頁。

現任教育・卒後教育に関するもの

座談会・卒後教育を考える：森日出男・日比野路子・森幸・馬場貞子・出垣冴子・野島良子，4号，252-264頁。

その他

書評 自己を知ることへの挑戦 カレン・ホルネイ著 霜田静志・国分康孝訳“自己分析”：岡崎美智子，1号，76-78頁。
書評 現代のイソップ物語 星新一短篇小説紹介：山田八重子，1号，78-79頁。
書評 ‘人間学’の新しい地平への試み ヨアヒム・イリス著 久保和彦訳“人間動物学”：寺田真広，2号，148-149頁。
書評 現代人に求められる‘自我実現’と‘存在への勇氣’ ロロ・メイ著 小野泰博訳“失われし自我を求めて”：岡崎美智子，2号，150-152頁。
書評 精神的豊かさに挑戦する未来社会 デニス・ガボール著 林雄二郎訳 成熟社会——“新しい文明の選択”：渡辺文子，3号，235-236頁。
書評 新しい看護史研究のはじまり 土旺会歴史部会著“日本近代看護の夜明け”：野口美和子，3号，237-238頁。
書評 学習する側からの公教育批判 佐藤忠男著“学習権の論理”：熱田小津江，4号，300-301頁。
書評 青年——流動的かつ不可解なるもの—— E.H. エリクソン著 岩瀬康理訳“アイデンティティ”：岡崎美智子，4号，302-303頁。
書評 社会的危機における人間性の考察 T. ガイガー著 大橋晋訳“激情と思慮の間の社会”：熱田小津江，5号，363-365頁。
書評 医療制度を考える好個な手がかかり G.A. ポポフ著 橋本正己・前田信雄訳“ソビエト連邦における保健計画の原理”：寺田真広，5号，365-367頁。
書評 死の本質を冷静に考察 ジョン・M・ランゴーン著 川口正吉訳“死は名詞である”：佐藤和美，6号，426-428頁。
書評 包括的医療を目指す画期的方法 日野原重明著“POS The Problem-Oriented System 医療と医学教育の革新のための新しいシステム”：原佳世，6号，428-430頁。
書評 日本人の心の深層を解明 滝沢克巳著“日本人の精神構造”：岡崎美智子，7号，492-493頁。
書評 看護の科学化を指向 川島みどり著“ともに考え

- る看護論”：藤枝知子，7号，494-495頁。
- 書評 看護婦と患者その関係理解のために マルティン・ブーバー著 野口啓祐訳“孤独と愛——我と汝の問題——”：渡辺文子，8号，550-551頁。
- 書評 科学的評価のための具体的指針 鈴木敦省・小林清子著“看護教育評価の実際”：鈴木美恵子，8号，552-553頁。
- 書評 学習の糸口としてゼミナールに最適の書 谷川浩編 看護心理学——臨床編——のすすめ”：藤枝知子，8号，553-554頁。
- 書評 医学 almighty 思想への内在的批判 D. クーバ一著 野口昌也・橋本雅雄訳“反精神医学”：中山洋子，9号，610-612頁。
- 書評 看護教育実践への基本的指針 S.M. Shaffer・他著 杉森みど里・佐藤和美・伊津フサ子訳“看護教師入門”：寺田真広，9号，612-614頁。
- 書評 人間存在の看護論 J. トラベルビー著 長谷川浩・藤枝知子訳“人間対人間の看護”：谷川美保子，12号，834-835頁。
- 書評 看護人間学の源を難病にさぐる 大段智亮・石川左門・土橋洋一著“死と向かいあう看護”：仙田洋子，12号，836-837頁。
-